

顕彰碑
けんしょうひ

河村瑞賢紀功碑
かわむらぎけんきこうひ

(所在地) 西区安治川一丁目一

河村瑞賢安治は、全国で治水灌漑事業を行っ

ているが、安治川開削かいさくによって、淀川の水をま

つすぐ大阪湾に通じることになり、水害の

減少げんしょうをもたらした。はじめは「新川」と呼ば

れたが、のち「安治川」と呼ばれるようになった。

説明文などが近年追加され、「古川跡」の碑

とともに一帯が整備せいびされている。



【碑文】

(正面) 贈正五位河村瑞賢紀功碑

(裏面) 贈正五位河村瑞賢紀功碑

大阪自古為中外通航要津其地帶淀河而臨擾海得舟車運載之便以収物資集散之利所以既庶且富也然
有利斯有害水為尤甚淀河之於大阪為無窮之利而氾濫潰決其害不測是以難波奠都乃鑿堀江厥後濬治
相踵面效績尤著者為貞享治水之役先是幕府欲救水患天和末派吏巡視河水源委河村瑞賢從焉瑞賢名
義通稱平太夫以号行江戸市人有智略開陳治水事宜幕府納之委以河村瑞賢以謂施工宜首海口乃募役
夫備器具鑿九條島以開新流河口用槌制水水乃急駛敬自然淤塞之虞而全河沛然注于海工程有法二旬告
成安治川是也積其所挑之士於南岸樹松以防波濤兼表航路世稱瑞賢山尋設槌与於中津川岐頭均分
二水以令本流不淺淤又分土佐堀川之水以救堂島曾根崎二川之堙廢最後治大和川俊鑿而疏導之京橋
以西撤沿岸市塵会河道深闊自貞享元年興役四載而訖功本支安流害除利興事具于新井君美畿内治河
記後二百余年内務省改修淀河雖或開或廢而安治川仍為海口出入之要路運載集散永蒙其利可謂惠沢
久遠矣明治四十四年特旨追褒瑞賢遺功贈正五位而大阪未有金石寿世之設頃者府知事大久保君利
武謀於諸有志者取浚河所獲之石為立紀功之碑屬予書其事予觀夫海外大都之夸雄富者概皆在河口与
我大阪相似顧其規模大小不同耳方今当国之術在貿易而大阪人固長於商業又得地之利宜竭智彈力爭
雄海外則益講水利恢廓前功以資于長計者豈非後人之責耶乃書以勤勉云

大正四年八月

西村時彦撰

伊藤 清書

【碑文 解説板】

(省 略 上の碑文に同じ)

【原文】

大阪は古くから水上交通・陸上交通の要所として栄えたが、水害による被害は常に深刻であった。そのため、仁徳天皇は河内湖と大阪湾を結ぶ堀江（現在の太川と言われる）を開削して治水に努めたという。しかしながら、大阪の治水を考える上でもっとも特筆すべき功績は、貞享元（一八六四）年河村瑞賢によって行われた安治川の開削である。

河村瑞賢は、江戸で頭角とうかくを現して幕府にその能力を買われ、大阪の治水工事に当たることとなった。安治川の開削工事に際しては、九条島を分断し、これによって安治川を開いた。工事はわずか二十日間で行われ、南岸にはこの時でた土砂を盛り上げ、航路の目印となるようにした。いわゆる瑞軒山である。河村瑞賢は次に、中津川の分水工事をし、本流である淀川に砂泥が溜まらないようにした。また、土佐堀川の水を分配することで、堂島川・曾根崎川の水流を円滑にした。最後に大和川を浚渫して水害が起らないようにしたのである。これら貞享元年から行われた治水工事の功績については、新井白石が「畿内治河記」あらいはくせきに詳しく記している。明治四十四（一九一）年、これら河村瑞賢の功績を称え、ただ正五位の官位を贈ることとなった。そこで時の府知事・大久保利武は有志たちと相談し、この紀功碑を建てたのである。いま、海外の大都市を見ると、いづれも河口に立地するという点で大阪と共通している。異なるのはその規模だけである。そのため、今まさに貿易を栄えさせ、これによって国を富ませるべきである。大阪人はかねてより商業に長けている。これに加えて陸海の交通の要所である地の利があるのであるから、智力・体力の限りを尽くして海外列強と競うべきである。

大正四（一九一五）年八月

文西村時彦

書 伊藤清



河

河村瑞賢紀功碑の原文と大意



平成 18 年設置の解説板



古河跡の碑

【碑文 解説板】

安治川と河村瑞賢紀功碑

もとの九条島（衢攘島）はデルタ地帯で、たび重なる淀川洪水のため、被害の絶え間がなかった。そこで貞享元年（一六八四）二月幕府は治水の専門家である河村瑞賢に命じ、九条島を掘り割り、淀川の水を一直線に大阪湾へみちびくこととした。四年の歳月を費やして、貞享四年に開削されたのが安治川である。

はじめは新川と呼ばれたが、元禄十一年（一六九八）この地が安らかに治まるようになるの願いをこめて、安治川と改名された。氾濫する淀川の水を直接海に導入するバイパス的存在である。この川の完成によって、同じく西成郡九条村であった一部が分かれて、現在の西九条になった。河村瑞賢の紀功碑は、大正四年八月に建てられた。又、この紀功碑は花崗岩で、大阪城築城の時、河底へ落ちた石を引揚げて利用したものと考えられている。

安治川が開削時に新川と呼ばれたのに対し、もともとあった川は古川と呼ぶようになった。この川は昭和二十七年十一月、大阪府の防潮堤工事にもない埋立てられ、元の古川西端に、昭和三十四年一月大阪府によって「古川跡」の碑が建てられた。

平成十八年 安治川第一振興町会